

学生確保の見通し等を記載した書類 添付資料目次

資料 1	山岳流域研究院に関する学生アンケート・・・・・・・・・・	1
資料 2	国土交通省中部地方整備局総合土砂管理計画関連資料・・・・・・・・	7
資料 3	静岡県知事からの意見書・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
資料 4	山岳流域研究院に関連する静岡県の施策目標と主な施策・・・・・・・・	9
資料 5	富士・愛鷹山麓地域環境管理計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10

静岡大学研究科等連係課程「山岳流域学位プログラム」

背景



流域は山岳域から海洋までの連続性に大きな課題をもつ

- 例： ➤ 下流都市域における社会・経済活動が上流域まで及ばないことによる中山間地の疲弊
- ダム建設に伴う「土砂流出」や「生態系」の連続性の喪失

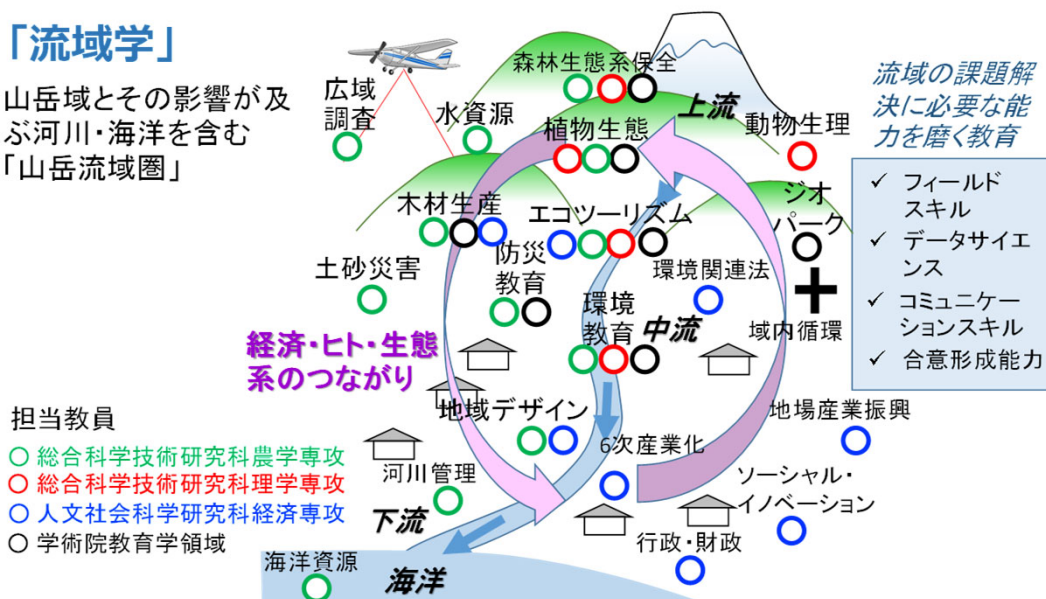
いずれの課題にも「自然・環境」と「生産活動・社会・経済」の関係性が影響
→課題解決につながる仕事をするためには流域を俯瞰できる文理融合的な視野やフィールドスキルが必要

「山岳流域学位プログラム」とは？

- ✓ 静岡大学の総合科学技術研究科（農学専攻・理学専攻），人文社会科学研究科，教育学領域が連携して行う文理融合型の修士課程
- ✓ 地域資源を最大限に活用したフィールド教育＋社会を意識した教育により山岳流域を俯瞰できる専門家・研究者を育成
- ✓ 修了生には流域学を習得したことを示す修士（流域学）の学位を授与
- ✓ 静岡大学が持つ文系から理系に至る幅広い分野の専門科目群や，連携大学（筑波大学，信州大学，山梨大学）の科目群から，自らが目標とする就職先につながる科目を選択することが可能

「流域学」

山岳域とその影響が及ぶ河川・海洋を含む「山岳流域圏」



静岡大学が総合大学の強みを生かし文理融合型の「流域学」を展開

習得を目指す能力

- ・文系，理系双方の視点から課題をみることができる幅広い視野

文理融合科目や，文系，理系双方の専門科目を履修することで習得可能

- ・これまでの学部の学習をさらに深めることで得られる高度な専門知識

静岡大学や連携大学（筑波・信州・山梨大学）の科目群の中から，自らの専門性を深める科目を選択して履修することが可能

- ・課題解決のために必要な実践的なフィールドスキル

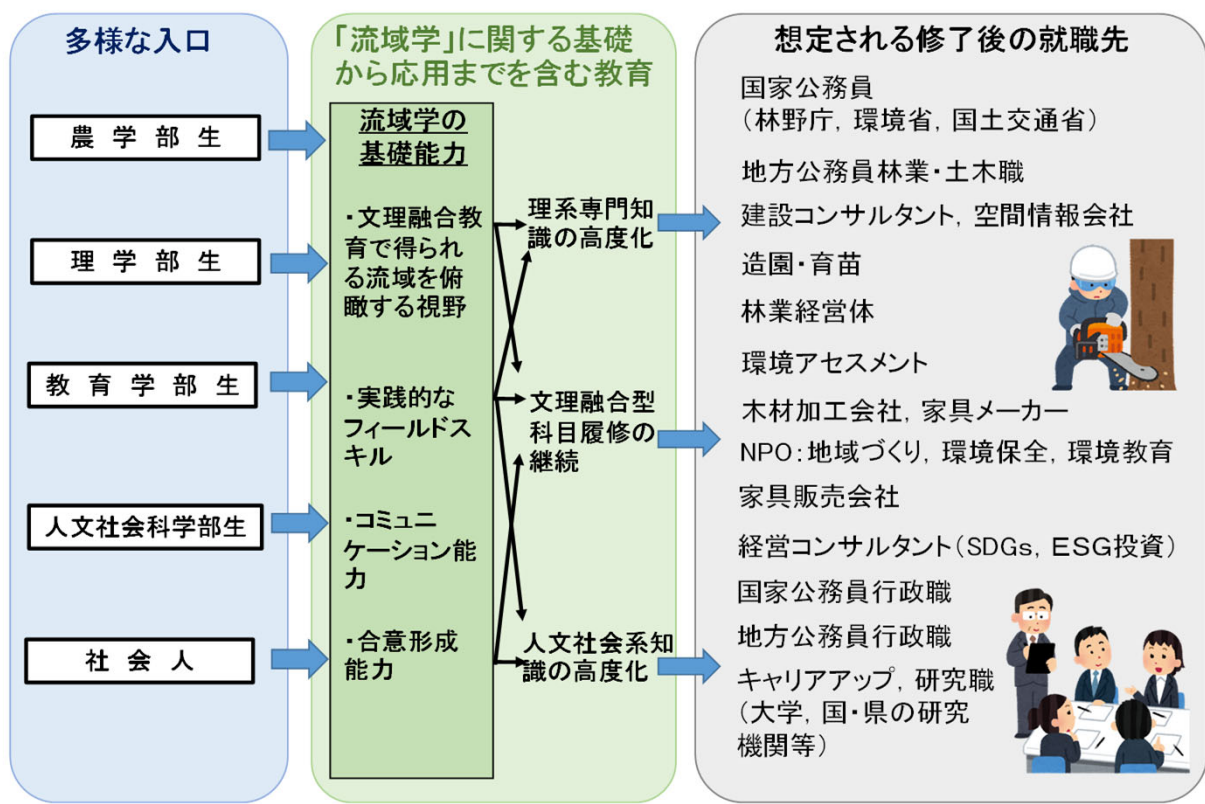
静岡の特徴を生かしたフィールド実習をはじめとし，フィールドスキルに関わる様々な科目を用意

- ・環境教育や防災教育といった市民の啓発活動に関する知識・スキル

行政での仕事などに必要な合意形成能力の形成につながる科目を用意



想定する入学学生と就職先



プログラムを改善するためのアンケートに教えてください
 皆さんからの意見をもとに，プログラムをより良いものにしていこうと考えています。ご協力お願いします。アンケート結果はプログラムの検討にのみ用い，その他の目的での利用は行いません。
 URL: <https://forms.gle/sPmqX7yUpH8KNsdX9>



山岳流域学位プログラムに関するアンケート

静岡大学では、修士課程「山岳流域学位プログラム」の設置に向けた準備を進めています。山岳流域学位プログラムは、総合科学技術研究科農学専攻、理学専攻、人文社会科学研究科、学術院教育学領域の教員が連携をすることで行う文理融合教育や、静岡県周辺地域の特徴を生かしたフィールド教育によって、流域を俯瞰できる視野を持った学生の育成を目指す試みです。修士（流域学）という、これまでにない新しい学位を授与し、流域内の資源の活用や流域の管理に関わる分野への就職、あるいは博士課程進学などを見据えた実践的・専門的な教育を行います。

山岳流域学位プログラムをよりよいものにしていくため、以下のアンケートを実施いたします。ご協力をお願いします。

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。[詳細](#)

あなたが所属する学部を教えてください

- 理学部
- 農学部
- 教育学部
- 人文社会科学部
- その他:

あなたの学年を教えてください

- 学部3年生
- 学部4年生
- 大学院生
- その他:

質問1：山岳流域学位プログラムに関する説明を読んで興味を持ちましたか

- はい
- いいえ

質問2：質問1で「はい」と答えた方は、この学位プログラムのどのようなところに興味を持ちましたか（複数回答可）

- 学位プログラムの教育カリキュラムの内容
- 学位プログラムで身に付けられる能力
- 修士（流域学）という新しい学位
- 学位プログラム修了後の進路
- その他:

質問3：質問1で「いいえ」と答えた方は、どのような理由から興味をもたなかったのでしょうか（複数回答可）。

- 学位プログラムの教育カリキュラムの内容が魅力的でない
- 学位プログラムで身に付けられる能力がよくわからない
- 修士（流域学）の学位よりも、従来からの学位（修士（農学）、修士（経済学）等）のほうが魅力的
- 学位プログラム修了後に想定される進路と自らの進路が一致しない
- その他:

質問4：この学位プログラムに進学した場合、どのようなことを学べると思いましたか（複数回答可）。

- 文系，理系双方の視点から課題をみることができる幅広い視野
- これまでの学部の学習をさらに深めることで得られる高度な専門知識
- 課題解決のために必要な実践的なフィールドスキル
- 環境教育や防災教育といった市民の啓発活動に関する知識・スキル
- その他:

質問5：この学位プログラムを修了したあと、どのようなところに就職したいですか。またはどのような進路で活躍が可能だと思いましたか

- 国家公務員
- 地方公務員
- 建設コンサルタント，空間情報・空間計測会社
- 造園・育苗会社，森林組合
- 環境アセスメント
- 木材加工会社，家具メーカー
- 家具販売会社
- 一般社団法人
- 経営コンサルタント（SDGs，ESD投資）
- NPO
- 教員
- 研究職（大学，研究機関等）
- その他:

質問6：あなたは修士課程「山岳流域学位プログラム」に進学したいと思いますか。

- はい
- いいえ

送信

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

- 1 (書類等の題名)
国土交通省中部地方整備局総合土砂管理計画関連資料 (【資料 2】 8～15 ページ)

- 2 (出典)
国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所ウェブサイト
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>

- 3 (引用範囲)
安倍川総合土砂管理計画・概要版 (1、2、4 ページ)
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/river/dosyakanri/pdf/gaiyou.pdf>

大井川流砂系総合土砂管理計画・概要
https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/river/dosyakanri/pdf/ooigawa_gaiyou.pdf

大井川流砂系総合土砂管理計画・パンフレット (1～4 ページ)
https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/river/dosyakanri/pdf/ooigawa_panfleto.pdf

令和3年10月吉日

国立大学法人静岡大学
学長 日詰 一幸 様

静岡県知事 川勝 平太



国立大学法人静岡大学研究科等連係課程「山岳流域学位プログラム」
の設置について

日頃から本県の行政運営等について、特別な御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県が擁する世界文化遺産である富士山やユネスコエコパークに登録された南アルプスなどは、世界に誇る自然環境と美しい山岳景観を構成し、流域には、先人が大切に守り育ててきた豊かな森林資源が、かつてないほどに充実しています。

一方で、近年、地球規模の気候変動などの影響により、激甚化する豪雨災害への対応、経済産業活動と環境保全の両立など、本県が直面する課題の多くは、相互に密接に関係しながら、複雑かつ多様化しています。

「持続可能な開発目標 (SDGs)」や「2050年カーボンニュートラル」など、持続可能な世界や脱炭素社会の実現を目指す動きが急速に高まる中、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、森林や河川、海洋が持つ多面的機能の発揮が求められています。

このため、SDGsの考え方を踏まえ、環境・経済・社会の統合的向上の実現の視点に立ち、分野横断的な施策展開を推進する本県にとって、貴学における山岳流域学位プログラムの設置実現は、流域全体を俯瞰し、自然科学や社会科学等の高度な専門性と社会経済情勢の変化に柔軟に対応することができる人材の育成や確保につながるものであり、極めて大きな意義を持つものと考えております。

山岳流域学位プログラムの内容と関連する静岡県の施策目標と主な施策

総合計画			施策目標	関連施策	主な施策	担当部	
1	2	(2)	風水害・土砂災害対策	地震や風水害などの発生に備え、ハード・ソフト両面から災害に強い基盤と体制の充実に回り、被害を最小限に抑制する	風水害を防ぐ施設の整備	河川の総合的な土砂管理 海岸浸食対策	交通基盤部・経済産業部
					土砂災害災害を防ぐ施設の整備	土砂災害防止施設の整備 山地災害防止施設や森林の整備	交通基盤部・経済産業部
					風水害・土砂災害からの避難体制の整備	流域治水の推進	危機管理部・交通基盤部・経済産業部
5	3	(2)	森林資源の循環利用による林業の成長産業化	農林水産業の競争力強化、持続的発展に向け、経営基盤の確立・強化、担い手の確保・育成を図る	県産材の安定供給体制の確立	低コスト木材生産システムの定着 森林認証材の安定供給	経済産業部
					県産材製品の需要拡大	県産材製品の需要拡大 製材・加工施設の機能向上	経済産業部
6	1	(3)	美しく活力ある農山村の創造	特色ある地域資源を活かした産業の振興を図り、その文化と魅力を発信する	多様な主体の参画による農村コミュニティの再生・創造	暮らしに影響を及ぼす鳥獣被害の防止	経済産業部
	2	(1)	環境に配慮した快適な社会の形成	温室効果ガスや廃棄物の排出を削減し、暮らしを守る環境を保全する。	地球環境の保全の推進	森林環境教育指導者の養成 二酸化炭素吸収源対策としての適正な森林整備	くらし・環境部・経済産業部
7		(2)	自然環境の保全と復元	生物多様性の保全を図り、増えすぎた野生生物を適切に管理する	希少種をはじめとする多様な野生動物の保護	陸・海の環境変化が海の生態系に与える影響の分析	くらし・環境部
					自然生態系等に深刻な影響を及ぼす野生動物の管理	鳥獣保護区の設定 ニホンジカの個体数管理	くらし・環境部
					自然公園等の適正な管理	自然環境保全条例に基づく保全対策	くらし・環境部
	3	(3)	森林との共生の推進	森林を守り、育て、活かす活動を実践する人を増やし、森林の適正な整備・保全を進める	県民参加による森づくりの推進	森づくり県民大作戦や企業の森づくりの支援	くらし・環境部
					自然とのふれあいの推進	森林環境教育指導者の養成	くらし・環境部
					森林管理の合意形成	地域森林計画の作成や森林経営計画の作成支援 森林県民円卓会議の開催	経済産業部
					森林の適正な整備・保全	伐採・造林届出、森林の開発許可制度の適切な運用 荒廃森林の再生による公益的機能の回復	経済産業部

- 1 (書類等の題名)
富士・愛鷹山麓地域環境管理計画 (【資料 5】 18～22 ページ)
- 2 (出典)
富士市ウェブサイト
<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/index1.html>
- 3 (引用範囲)
計画及び条例パンフレット (1～5 ページ)
<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0902/fmervo00000045kj-att/fmervo00000047kv.pdf>